

保健医療学部 リハビリテーション学科

理学療法学専攻 作業療法学専攻

公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会
中級障がい者スポーツ指導員資格取得認定校
学校法人 福田学園



〒530-0043 大阪市北区天満1丁目9番27号
入試広報課 ☎0120-581-834
TEL.06-6352-0093 FAX.06-6352-5995
✉info@ohsu.ac.jp 🌐https://www.ohsu.ac.jp

大阪保健医療大学

保健医療学部 リハビリテーション学科

- PT** 理学療法学専攻
Department of Physical Therapy
- OT** 作業療法学専攻
Department of Occupational Therapy

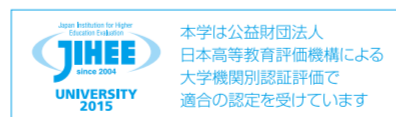
専攻科(2年課程)
対象:4年制大学卒業生

- ST** 言語聴覚専攻科(専門実務教育訓練指定講座)
Postgraduate Course, Diploma Program in Communication Sciences and Disorders

大学院
夜間開講制

保健医療学研究科・保健医療学専攻[生活機能支援学分野]

- 脳神経疾患身体障害支援学領域【職業実践力育成プログラム】(BP)認定講座
- 運動器疾患・スポーツ傷害身体障害支援学領域(一般教育訓練指定講座)
- 認知・コミュニケーション障害支援学領域(一般教育訓練指定講座)
- 健康生活支援学領域



本学は公益財団法人
日本高等教育評価機構による
大学機関別認証評価で
適合の認定を受けています

2020年度 学生募集要項

プラス1の想い

保健医療学部 リハビリテーション学科

PT OT 理学療法学専攻 作業療法学専攻



3 入学手続に要する納付金

1. 入学金
入学金納入締切日までに入学金を金融機関で振り込んでください。振込依頼書は合格通知書類に同封します。
2. 前期学納金・各種会費等
合格通知書類に前期学納金・各種会費等納付振込依頼書と入学手続書類を送付いたします。前期学納金納入締切日までに前期学納金・各種会費等を金融機関で振り込み、入学手続書類を郵送してください。

5 授業料減免・奨学金制度ほか

授業料減免制度

日本学生支援機構 奨学金

・予約奨学金制度

日本学生支援機構奨学金／高校予約採用(貸与)申込みが必要となりますので、詳しくは在学中の高校へお問い合わせください。

4 入学辞退による納付金一部返還制度について

入学手続時納付金を全額納入し入学手続を完了後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合は事務局06-6354-0091にご連絡ください。2020年3月31日(火)17時までに本学所定の入学辞退届を提出した者に限り、入学金・各種会費等を除く前期学納金を返還します(振込手数料を除く)。

国の教育ローン(日本政策金融公庫)

本学の入学者または在学者は、「国の教育ローン」を利用することができます。「国の教育ローン」は、教育のために必要な資金を融資する公的な制度で、入学時や在学中の費用として幅広く使うことができます。

- ・利用できる方… 本学に入学・在学する学生の保護者または本人
- ・ローンの金額… 350万円以内
- ・ローンの対象… 入学金・授業料・教科書費用・下宿費用等(1年間にかかる費用)
- ・返済期間… 15年以内(交通遺児家庭、母子家庭、父子家庭または世帯年収(所得)200万円(122万円)以内の方は18年以内)
- ・利息… 年1.78%(2018年11月現在)
- ・返済方法… ①毎月元利均等払い(ボーナス月(年2回)の増額返済可能)
②在学期間中は利息のみの支払いが可能(元金据置)
- ・問い合わせ先… 教育ローンコールセンター(日本政策金融公庫国民生活事業)ナビダイヤル 0570-008656
※ナビダイヤルがご利用いただけない場合は03-5321-8656におかけください。

1. 建学の精神

専門知識(学問)、技術(実習)、そして人間尊重(心)を兼ね備え、社会に貢献する人材の育成

2. 大学の目的

リハビリテーション(医学・医療・福祉・保健)を研究開発するとともに、高度な専門知識・理論及び応用を教授し、その成果を人間尊重の観点から広く応用できる21世紀にふさわしい人材の育成を目的としている。

3. 具体的な人材育成方針

対象者の理想を医学的・社会的見地に立って実現するために、積極と高いコミュニケーション能力をもってそれを理解し(積極とコミュニケーション)、自身が会得した最新の専門知識と技術に自信と誇りを持ち(自負)、対象者のためにそれを全力で活用するために、探求と創造の姿勢を持ち(創造)、対象者のために自身は何ができるかを真摯に考える共感と献身の態度(献身・共感)を備えた人材を育成する。

4. 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)

本専攻が目指すところは、本学の人材育成方針に則り社会に求められる臨床家、理学療法士を育成するところであり、その具体的な要件を示す。

- (1) 理学療法士国家試験に合格できる知識及び思考力・判断力を習得している(専門知識・技術)
- (2) 理学療法士として臨床的問題解決に必要な知識・技能、思考力・判断力を身につけている(専門知識・技術)
- (3) 理学療法士として対象者のために自身は何ができるかを全力で真摯に考える態度、すなわち献身的、共感的態度が備わっている(献身・共感)
- (4) 理学療法士として探究と創造の姿勢を持ち、自ら学び、学ぶ意義を対象者の中に見出すことができる(自負・創造)
- (5) 対象者の問題解決に向けて、必要に応じて多様な人々と主体性を持って協働して学ぼうとする態度とコミュニケーションスキルを身につけている(積極とコミュニケーション)

5. 教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)

※DPとはディプロマポリシーを示します。

ディプロマポリシーに示された要件を満たす理学療法士を育成するため、履修系統図に示すような段階的、階層的学びを可能とするカリキュラム編成とする。

- (1) 知識や技能の習得にあたっては段階的・階層的に学べる編成とする(DP1、2)
編成の実態は教育課程に示すとおりであり、教育に当たっては反転学習やフリンナー法といった学習を促す教育技法を取り入れる。
- (2) 実習や演習を講義科目と連携できるように配置し、知識と技術の統合を促す実学重視の科目配課とする(DP1、2)
- (3) 段階的、階層的カリキュラムの履修にあたっては、次段階までに必要な知識・技術を十分に修得し次段階にステップアップできるように配課する(DP1、2)
適宜個々の修得状況を把握し(学籍履歴や学修計画の確認と助言)、個別の修得度に応じた、また年次進行に応じた学修支援体制を導入する。
- (4) それぞれの科目がなぜ理学療法学の習得に必要なのかを明確にして教授する(DP1、2)
カリキュラムの意図を学生自ら理解し学位取得に到達できるように、各科目が理学療法学を学ぶにあたってなぜ必要なのかを明確に示し教授する。
- (5) 学外での臨床実習にあたっては段階的な学びの機会となるように配課する(DP1、2)
実習目標のみでなく、指導者についても帯同教員によ